

NACSIS-CAT/ILL

# ニュースレター

## Contents

1. 『電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想』の公開について	2
2. NACSIS-CAT/ILL ハードウェアリプレイスについて	3
3. NACSIS-CAT/ILL 参加館状況調査アンケート実施結果	3
(NACSIS-CAT)	
4. NACSIS Webcat のサービス終了について	4
5. 平成 24 年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 総合目録データベース遡及入力事業の実施	4
6. 平成 23 年度総合目録データベース遡及入力事業実施報告	5
7. 電子データによる雑誌所蔵データの所蔵更新・追加について	5
8. 目録システムの正規化処理についての改修	6
9. 「タイ文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディングマニュアル」 修正案へのパブリックコメントの募集	8
(NACSIS-ILL)	
10. 「ILL システム操作マニュアル」第 7 版の刊行	9
11. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 23 年度第 3 四半期～平成 23 年度第 4 四半期)	9
(教育研修事業)	
12. NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材 新規開発分の提供開始	10



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

## 国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号  
学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax: 同上

学術基盤課

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

## 『電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想』の 公開について

国立情報学研究所では、「学術コンテンツ運営・連携本部」の下で、我が国の最先端学術情報基盤（CSI：Cyber Science Infrastructure）の構築に向けて、その中核となる学術コンテンツの形成およびサービスの提供を企画・立案しています。次世代学術コンテンツ基盤の共同構築については、「学術コンテンツ運営・連携本部」の下に設置した「図書館連携作業部会」が、大学等と連携しつつ、中長期的な視野に立った検討を行っています。

同作業部会では、平成23年度の活動の成果として、『電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想－学術コンテンツ運営・連携本部 図書館連携作業部会報告書－(平成24年3月)』を下記のウェブサイトで公開しました。

URL：[http://www.nii.ac.jp/content/archive/pdf/content\\_report\\_h23.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/archive/pdf/content_report_h23.pdf)

この報告書は、平成21年3月に公表した『次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）』以後の状況を整理したうえで、目録所在情報サービスに留まらず学術的なコレクションの整備およびその管理やサービスを含めた今後の構想について検討した結果をまとめたものです。

報告書では、近年の学術情報流通の変化を、電子情報資源の急速な拡大、目録情報の価値の変化と Linked Open Data の展開、電子情報資源の確保とコレクション構築の概念の変化、統合的図書館システムの登場などの観点から分析し、国内外の関連機関の最新動向を調査しつつ、新たな基盤の必要性に関する基本的な考え方の整理を行っています。そこから導き出された方向性および原則として、(1) 電子情報資源の確保、(2) メタデータのオープン化と相互接続性（相互運用性）の確保、(3) 統合的発見環境とシステム基盤の整備についての提言がなされています。具体的には、大学図書館と国立情報学研究所による電子コレクションの共同構築（既存資料の電子化、ライセンス（契約）目録データの整備）とオープンアクセスの推進、および、システム整備が望まれており、そのために両者が密に連携した推進体制が必要とされています。

この報告書をうけて、平成24年度以降は、「大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書」に基づき設置された「連携・協力推進会議」の下で、電子情報資源を含む総合目録データベースの強化について、検討・整備を進めることとなります。

(学術コンテンツ課)

## NACSIS-CAT/ILL ハードウェアリプレイスについて

NACSIS-CAT/ILL システムのハードウェアリプレイスに伴い、システム及びデータ等の移行作業を、本年度末に実施する予定です。

そのため、平成 25 年 3 月下旬頃に、週末を含めた 3 日間のサービス休止を予定しています。  
(各 MARC データは 1~2 ヶ月程度の間、更新を休止する予定です。)

なお、サービス停止等の詳細は、平成 24 年 12 月末頃に以下のホームページでご案内しますので、ご確認ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/syskan/maintenance.html>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

## NACSIS-CAT/ILL 参加館状況調査アンケート実施結果

平成 23 年 3 月に、NACSIS-CAT/ILL 参加館の状況調査のためのアンケートを実施し、616 館から回答をいただきました。

このたび、「NACSIS-CAT/ILL 参加館状況調査アンケート結果報告書 (平成 23 年 3 月調査) —アンケート基礎集計—」を以下の URL で公開しました。アンケートの回答内容は、今後の目録所在情報サービスの在り方を検討するために利用します。

参加館の皆様には、アンケートへのご協力に御礼申し上げます。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/project/enq2011/index.html>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

## NACSIS Webcat のサービス終了について

本誌 33 号 (2011.07.29) でも既にお知らせしたとおり、平成 9 (1997) 年 4 月からご利用  
いただいております NACSIS Webcat は、平成 25 (2013) 年 3 月 8 日 (金) をもってサー  
ビスを終了いたします。長年にわたる皆様のご愛顧・ご厚情に感謝申し上げます。

今後は、NACSIS Webcat の後継サービスとして、検索機能をより拡張した CiNii Books  
( <http://ci.nii.ac.jp/books/> ) をご利用ください。

なお、サービス終了後、当分の間は、NACSIS Webcat にアクセスすると CiNii Books に転  
送されるように設定する予定ですが、各機関のホームページからの Webcat へのリンクや、図  
書館 OPAC と Webcat との横断検索を行っている場合は、予め CiNii Books への移行をお願い  
します。

NACSIS-Webcat サービス終了日時： 平成 25 (2013) 年 3 月 8 日 (金) 12 時

(NACSIS-CAT 担当)

## 平成 24 年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 総合目録データベース遡及入力事業の実施

平成 24 年 3 月 14 日付文書にて照会しました、「平成 24 年度次世代学術コンテンツ基盤共同構  
築事業 総合目録データベース遡及入力事業」について、23 機関から応募がありました。

選考の結果、以下の 9 機関が実施内定となりました。

機関名	
北海道大学	大阪大学
弘前大学	岡山大学
東京大学	香川大学
お茶の水女子大学	愛媛大学
名古屋大学	

(NACSIS-CAT 担当)

## 平成 23 年度総合目録データベース遡及入力事業実施報告

平成 23 年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 総合目録データベース遡及入力事業においては、平成 23 年 6 月に 8 機関の採択を行いました。図書館資料の共同利用の促進を目的として、遡及入力事業の委託を推進することで、情報入手・資料アクセス環境がより一層整備されました。

平成 23 年度の遡及入力事業の実施結果は、以下のとおりです。

実施機関名	登録件数
北海道大学	7,460 冊
東京大学	12,900 冊
お茶の水女子大学	10,450 冊
一橋大学	13,766 冊
名古屋大学	6,932 冊
京都大学	13,500 冊
大阪大学	4,200 冊
国際大学	2,771 冊

(NACSIS-CAT 担当)

## 電子データによる雑誌所蔵データの所蔵更新・追加について

本誌 25 号 (2008.10.31)でお知らせしましたとおり、平成 21 年 3 月 31 日をもって、所蔵更新リストによる雑誌所蔵データの更新、データシートによる書誌・所蔵の追加及び書誌修正を廃止しておりますが、このたび、平成 24 年度末のハードウェアリプレイスに合わせて、電子データ（所蔵登録用の B フォーマット）による所蔵更新、所蔵追加についても廃止します。

今後は、所蔵更新リスト及びデータシートで作業を行っていた参加館（非オンライン館）の方は、目録所在情報サービスの利用申請を行っていただき、オンラインによる書誌・所蔵の追加・修正作業をお願いします。また、オンライン館であっても、電子データによる雑誌所蔵データの更新・追加を行っていた参加館は、オンラインでの修正またはクライアントシステムの自動アップロード機能等を使用して、所蔵データの更新をお願いします。

(NACSIS-CAT 担当)

## 目録システムの正規化処理についての改修

本誌 34号(2012.1.10)でお知らせしましたとおり、特殊文字・特殊言語資料に関する取扱い及び解説、コーディングマニュアル抜粋集の公開に関連して、目録システムの正規化処理についての改修を行います。なお、サーバへの実装は、平成 24 年 10 月頃を予定しています。

主な改修点は、以下のとおりです。

1. 以下の文字種について、大文字小文字の正規化を行い、大文字・小文字いずれであっても検索を可能にする。

- ・ギリシャ文字 U+0370～U+03FF / U+1F00～U+1FFE (の一部)
- ・コプト文字 U+03E2～U+03EF / U+2C80～U+2CFF
- ・キリル文字 U+0400～U+04FF / U+0500～U+0527 / U+A640～U+A697 (の一部)
- ・アルメニア文字 U+0531～U+058F / U+FB13～U+FB17
- ・グラゴル文字 U+2C00～U+2C5E
- ・グルジア文字 U+10A0～U+10FF / U+2D00～U+2D2D
- ・ディザレット文字 U+10400～U+1044F

2. 複数の要素によって構成されている文字であって、個別の要素と文字全体についてそれぞれ文字コードが割り当てられているものは正規化・包摂を行う。

例： U+0BC6 ◌◌ + U+0BBE ◌◌ → U+0BCA ◌◌◌ Tamil Vowel Sign O

※データベースには、U+0BCAとして登録される

U+0A16 ◌ + U+0A3C ◌ → U+0A59 ◌ Gurmukhi Letter Khha

※データベースには、U+0A59として登録される

3. 各文字種に固有の数字については、インデクスの正規化を行い、アラビア数字での検索を可能とする。
4. 音標記号の付加された文字については、インデクスの正規化によって、音標記号の付加されない文字に揃え、いずれの文字においても検索を可能とする。
5. アラビア文字の**アリフ**および**アイン**の翻字形について、正しく U+02BE, U+02BF で検索した場合でも、アポストロフィ (U+0027) を使用した場合でも、検索に漏れがない

ように、U+02BE, U+02BF を従前どおりトルツメ処理したインデクスと U+02BE, U+02BF を U+0027 に変換したインデクスを作成する。なお、現在、USMARC では**アリフ**の翻字および**アイン**の翻字を、U+02BC, U+02BB としているが、NACSIS-CAT においては、平成 15 年 7 月に「アラビア文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディングマニュアル」を公開した経緯と、現在のデータでの文字コードの使用状況を踏まえ、以下の文字を使用することとする。

**アリフ**の翻字 → 02BE 「ʾ」 MODIFIER LETTER RIGHT HALF RING

**アイン**の翻字 → 02BF 「◌̣」 MODIFIER LETTER LEFT HALF RING

ただし、USMARC からの流用により、U+02BC, U+02BB がそのまま使用されていることも考慮にいれ、U+02BC, U+02BB についても、U+02BE, U+02BF と同様の処理を行う。

その他、個々の文字の定義については、NACSIS-CAT/ILL ホームページで公開する予定です。

(NACSIS-CAT 担当)

**※赤字部分が、冊子体からの修正点です。(2012/7/13)**

## 「タイ文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディング マニュアル」修正案へのパブリックコメントの募集

タイ文字資料に関する取扱いについては、平成18年5月から本運用を開始しておりますが、運用開始後6年が経過し、一部内容の追加・修正の要望がありました。つきましては、このたび、「タイ文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディングマニュアル」について、一部改正を検討するため、以下のとおりパブリックコメントを募集することとしました。

「タイ文字資料に関する取扱い及び解説およびコーディングマニュアル」修正案

URL : [http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual\\_draft.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual_draft.html)

つきましては、この修正案へのご意見を募集いたします。

宛先：国立情報学研究所 学術コンテンツ課 NACSIS-CAT 担当 E-mail : <a href="mailto:catadm@nii.ac.jp">catadm@nii.ac.jp</a> Subject : タイ文字資料に関する取扱い・CM 修正案について
---

意見等募集期間：平成24年8月1日（水）～8月31日（金）

なお、お寄せくださったご意見は、個人を特定できる情報を削除した上で、公開させていただきます。

(NACSIS-CAT 担当)



## 「ILL システム操作マニュアル」第7版の刊行

「ILL システム操作マニュアル」第7版を平成24年3月に刊行しました。

各参加館には、平成24年4月に参加組織単位で1部ずつ発送しておりますが、部数の追加をご希望の場合には、以下のとおり、メールで申請してください。

- メール宛先 : [illadm@nii.ac.jp](mailto:illadm@nii.ac.jp) (学術コンテンツ課 NACSIS-ILL 担当)
- メール件名 : ILL マニュアル第7版 送付希望
- 申請内容

機関名、参加組織番号 (FA 番号)、担当者名、送付先郵便番号・住所・電話番号、必要部数

なお、以下の URL にて、マニュアルを公開しています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/illmanual.html>

(NACSIS-ILL 担当)

## ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(平成23年度第3四半期～平成23年度第4四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

### ■ 平成23年度第3四半期 (平成23年10月～12月)

- 利用機関数 : 835
- 処理対象 ILL レコード件数 : 209,254 (NACSIS-ILL 総レコード件数 : 232,143 )

		対債務機関	対債権機関
機関数		492	343*
NII の請求額/支払額		20,854,597	▲20,785,156*
内訳	相殺金額	20,837,913	▲20,837,913
	運営費 (税込)	18,900	0
	前期債権繰越額	▲2,216	▲2,395
	振込手数料	0	55,152

\* 対債権機関の機関数、NII の支払額には次期繰越分(12 機関, 5,427 円)が含まれています。

## ■ 平成 23 年度第 4 四半期 (平成 24 年 1 月～3 月)

- ・利用機関数：839
- ・処理対象 ILL レコード件数：162,473 (NACSIS-ILL 総レコード件数：180,739)

		対債務機関	対債権機関
機関数		490	349*
NII の請求額/支払額		18,684,433	▲18,743,152*
内 訳	相殺金額	18,687,512	▲18,687,512
	運営費 (税込)	4,725	1,575
	前期債権繰越額	▲1,646	▲3,781
	振込手数料	0	57,846

\* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(4 機関, 500 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

## NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材 新規開発分の提供開始

国立情報学研究所では、NACSIS-CAT/ILL システムをウェブ上で学習できるセルフラーニング教材を提供しています。平成 24 年 4 月に新たに「図書所蔵登録」「雑誌所蔵登録」の 2 教材の提供を開始し、全 18 教材となりました。

セルフラーニング教材はどなたでもご利用いただけます。職場での研修や大学の司書課程での授業、また自学自習などにぜひご活用ください。ご利用希望の場合は、以下の URL をご参照の上、お申し込みください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/slcat.html>

(教育研修事業担当)



国立情報学研究所 目録所在情報サービス

**NACSIS-CAT**

**NACSIS-ILL**